

令和5年度(2023年度) 函館市自殺対策連絡会議 会議録

|              |   |
|--------------|---|
| 開催日時         | 令和5年(2023年)11月15日(水) 午後2時から午後2時55分まで  |
| 開催場所         | 函館市役所本庁舎8階 第2会議室  |
| 出席者<br>(19名) | (庁外) 三上委員(議長), 飛内委員, 寺尾委員, 石崎委員, 朝井委員, 百合委員,<br>小林委員, 深見委員, 森谷委員, 中田委員, 吉田委員, 竹花委員, 尾形委員,<br>鈴木委員(副議長)<br>(庁内) 中村委員, 大坂委員, 山村委員, 杉林委員, 伊東委員 |
| 欠席者<br>(6名)  | (庁外) 川崎委員, 榎本委員, 北原委員, 数又委員<br>(庁内) 名古屋委員, 黒田委員   |
| 傍聴等          | なし  |
| 事務局<br>(6名)  | 保健福祉部 佐藤部長<br>障がい保健福祉課 田口課長, 加藤主査, 二本柳主査, 小野寺主任, 西田技師   |

<会議内容の要旨>

1 開会

【事務局：二本柳主査】

委員の皆様お疲れさまです。函館市中学校長会 中田校長様が到着しておりませんが、事前に遅れる旨ご連絡がありましたので、ただ今から、令和5年度函館市自殺対策連絡会議を開催いたします。

はじめに、函館市保健福祉部長の佐藤からご挨拶を申し上げます。

2 部長挨拶

【佐藤部長】

皆様こんにちは。函館市保健福祉部長の佐藤でございます。本日は、大変御多忙の中、御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から本市の保健福祉行政の推進に御理解・御協力を賜り、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、我が国の自殺者数でございますが、減少傾向にあるものの依然として毎年2万人を超える水準で推移しております。コロナ禍における不安やストレスの高まりなどによりまして、令和4年の自殺者数は21,881人となり、女性は3年連続で増加、小中高生は過去最多となったことなどを受けまして、国におきましては、女性や子ども・若者の自殺対策の更なる推進および強化を掲げているところでございます。

このような中、本市におきましては、誰も自殺に追い込まれることのない函館市の実現を目指しまして、平成31年度から令和10年度までの10年間を計画期間とする「函館市自殺対策行動計画」を平成31年3月に策定いたしまして、これまでの間、関係機関・団体の皆様とともに総合的な自殺対策に取り組んできたところでございます。

今年度は、本計画の中間年となりますことから、計画の振り返りと後期5か年の推進に向けまして、函館市自殺対策実務者会議において議論を重ね、中間評価の素案を作成したところでございます。

委員の皆様におかれましては、本日の議題となります、素案へのご意見を賜りますとともに、今後も本市の自殺対策の推進にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。簡単ではございますが私からの御挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 3 委員紹介

【事務局：二本柳主査】

本日の会議は、4年ぶりの開催となりますので、委員の皆様をお一人ずつ順にご紹介させていただきます。座席順にお名前を読み上げます。

(委員を紹介)

なお、川崎委員、榎本委員、北原委員、数又委員、名古屋委員、黒田委員につきましては、事前に欠席のご連絡をいただいております。

### 4 事務局職員紹介

【事務局：二本柳主査】

次に事務局職員をご紹介します。

(事務局職員を紹介)

【事務局：二本柳主査】

本日の議事に入る前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。会議次第、構成員一覧、座席表、生活保護受給者の自殺者の状況のほか、事前にお送りしております、函館市自殺対策行動計画中間評価・素案(案)となります。

本日の資料については、以上のとおりとなっておりますが、不足などがございましたら、お申し出ください。

本日の会議は、午後3時までを予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。

また、この会議は、公開することを原則としておりますので、ご了解のほど、よろしくお願いいたします。

### 5 議事

#### (1) 協議事項

##### ア 議長・副議長の選出について

【事務局：二本柳主査】

それでは、次第の5 協議事項のア議長・副議長の選出についてです。

連絡会議設置要綱第4条第1項の規定により、議長は委員の互選により定めることとなっております。

皆様のご承諾がいただければ事務局から提案させていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声)

【事務局：二本柳主査】

異議なしの声がございましたので、事務局から提案させていただきます。

議長には、函館市医師会理事の三上委員にお願いしたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

【事務局：二本柳主査】

異議なしの声がございましたので、議長につきましては、三上委員にお引き受けいただきたいと存じますが、三上委員、よろしいでしょうか。

(三上委員 承諾)

**【事務局：二本柳主査】**

それでは、議長は、三上委員にお願いします。三上委員は、窓側の議長席へ移動をお願いいたします。

これからの会議の進行につきましては、連絡会議設置要綱第4条第2項の規定により、議長にお願いしたいと思います。三上議長、よろしくをお願いいたします。

**【三上議長】**

ただいま、議長に選出されました三上でございます。迅速に進めたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

それでは議事に移ります。副議長の選出については、議長から指名することとなっておりますので、函館地域生活支援センター長の鈴木委員にお願いしたいと思います。

(鈴木委員 承諾)

**【三上議長】**

それでは、鈴木委員、よろしくお願いいたします。

**【事務局：二本柳主査】**

それでは、鈴木委員は、議長のとなりの副議長席へ移動をお願いいたします。

**(1) 協議事項**

**イ 函館市自殺対策行動計画 中間評価・素案（案）について**

**【三上議長】**

それでは、協議事項のイ函館市自殺対策行動計画中間評価・素案について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局：二本柳主査】**

事務局の二本柳です。それでは、中間評価・素案について、ご説明いたします。

ご質問、ご意見等につきましては、一通り説明したのち、お聞きしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

中間評価・素案をご覧ください。この素案につきましては、本連絡会議の関係機関等の実務者レベルによる函館市自殺対策実務者会議において取りまとめたものとなっております。

1枚めくっていただいて、目次です。中間評価の素案は、第1の中間評価についてから第4の自殺対策の体制まで、4項目、13ページで構成しています。

1ページ、第1 中間評価についてをご覧ください。1 中間評価の概要には、本計画における個別事業等の概要、計画の中間年となる本年に中間評価を行うにあたっての個別事業等の評価やアンケート調査の実施について記載しています。

2 本計画の概要には、これまでの国や本市における自殺対策の取り組みのほか、本計画の策定経過、2ページには、3 計画の位置付け、4 計画の期間、5 計画の目標を記載しています。5 計画の目標につきましては、国と本市の数値目標を記載しています。本計画では、自殺死亡率の減少を目標に掲げ、平成27年から平成29年までの3か年の平均値18.8から30%程度減少させた13.2を令和10年における目標値として設定しています。

3ページをご覧ください。こちらは、厚生労働省が公表している人口動態統計をもとに作成した、平成24年から令和3年までの10年間の函館市の自殺者数と全国、北海道、函館市の自殺死亡率の推移を一覧表、グラフにまとめ掲載しています。

本市の自殺者数は、平成20年に91人で、その後は、記載のとおり増減はあるものの減少傾向で推移し、計画策定後の令和3年の自殺者数は37人で自殺死亡率は14.9まで減少しています。

令和4年の自殺者数等につきましては、厚生労働省が9月15日に令和4年人口動態統計を公表しておりますが、本市を含む個別の市区町村のデータは、今後、国から提供されるため、令和3年までの数値を反映したものとなっておりますので、ご了承ください。

4 ページ, 6 施策の体系をご覧ください。計画全体の構成として, 目指す姿, 基本方針, 重点課題, 本市の具体的な取り組み内容を記載しています。

次に5 ページ, 第2 評価結果についてをご覧ください。

1 中間評価の方法には, 平成31年度から令和4年度までに関係機関・団体が実施した98の個別事業等の自己評価とその結果をもとに33の施策について, 達成状況をA・B・Cの3段階により評価を行った旨を記載しています。

2 個別事業等の評価には, 評価の概要を記載し, 評価の内訳については, 6 ページの別表に記載のとおりとなっております。

各関係機関・団体においては, 新型コロナウイルス感染症の影響で一部実施できなかったものがあつたものの「概ね目標どおりの取り組み」が行われ, 延べ189の機関・団体によって実施された個別事業等の自己評価では, A「目標を上回る取り組みを行った」が21件(11.1%), B「目標どおりの取り組みを行った」が164件(86.8%), C「目標を下回る取り組みにとどまった」が4件(2.1%)であったこと, 33の施策の評価では, Aが10件(30.3%), Bが23件(69.7%), Cが0件となった旨を記載しています。その下には, 本計画における施策や個別事業等の区分について掲載しています。

6 ページをご覧ください。こちらには, 先ほど, ご説明いたしました関係機関・団体による個別事業等の自己評価と施策の評価の結果をまとめた一覧表となっております。

7 ページ, 3 こころの健康に関するアンケート調査をご覧ください。こちらには, 中間評価に向けた取り組みとして, こころの健康や自殺予防に関する市民意識等を把握するため, 令和4年度に実施したアンケート調査の結果から, 自殺予防に関する市民意識や自殺対策に係るものを掲載しています。上段の「自殺はその多くが防ぐことのできる社会的問題である。」との問いには, 「そう思う」が29.0%, 「ややそう思う」が20.9%と半数の回答があつた一方で, 「どちらとも言えない・わからない」が30.8%と最も多く, 全国の13.2%より高くなっています。下段の「我が国では毎年2万人以上の方が自殺で亡くなっており, これは交通事故で亡くなった人の4倍の数となります。このように多くの方が自殺で亡くなっているのを知っていますか。」との問いには, 「知らない」と回答した方が49.9%と高く, 「知っている」の47.0%を上回る回答となっております。

8 ページをご覧ください。上段の「自殺対策は自分自身にかかわる問題だと思いますか。」との問いには, 「そう思う」が13.3%, 「どちらかと言えばそう思う」が18.1%で合わせて31.4%, 「そう思わない」が15.8%, 「あまりそう思わない」が15.0%で合わせて30.8%とそれぞれ約3割の回答があつた一方で, 「どちらとも言えない」が33.6%と最も多くなっています。下段の「自殺対策として, あなたが大切だと思うことはどのようなものですか。」との問いには, 「生活困窮者への経済的支援」が最も多く, 次いで, 「職場や地域での相談しやすい体制整備, 相談窓口の周知」, 「失業, 過重労働などの雇用に関する支援の充実」, 「暮らしやこころに関する相談会の実施」などの順に回答がありました。

9 ページをご覧ください。上段の「あなたは, 18歳未満の子ども・若者の死因の1位が自殺であることを知っていますか。」との問いには, 「知らない」が60.2%と「知っている」の30.9%の約2倍と多くの回答がありました。下段の「あなたは, 18歳未満の子ども・若者が自殺について学ぶ機会があつた方がよいと思いますか。」との問いには, 「そう思う」が57.7%と最も多く, 「どちらかと言えばそう思う」の20.4%を合わせると78.1%と多くの回答がありました。以上がアンケート調査の結果です。

10 ページをご覧ください。4 数値目標(自殺死亡率)には, 本市の数値目標と平成31年から令和3年までの推移を記載しておりますが, いずれも目標値の13.2まで減少していない状況となっております。

次に11 ページ, 第3 今後の取り組みについてをご覧ください。

本文の上段には, 自殺死亡率は, 平成31年から令和3年まで, いずれも目標値の13.2まで減少していない状況であること, 誰も自殺に追い込まれることのない社会を実現するため, 引き続き, 自殺対策に係わる関係者それぞれが連携・協働し, 各種関連施策が有機的に連携した自殺対策を総合的に推進する旨を記載しております。

次に1 中間評価の総括には, 本計画に掲げる3つの基本方針の評価や関係機関・団体が取り組んだ個別事業等の活動状況を記載しております。

市の取り組みとしては、自殺予防に関する普及啓発や人材の養成などの取り組みを進め、地域の自殺対策に係わる民間団体においても、困難な状況にある本人や家族への支援、心のケアに関する講演会の開催など、地域の自殺対策を推進する取り組みが行われ、関係機関・団体の活動状況では、33の施策のうち、心の健康やうつ病等の知識の普及啓発など、10の施策で目標を上回る取り組みが行われ、その他の施策においても概ね目標どおりの取り組みが行われたことを把握することができたことや、こころの健康に関するアンケート調査から、「自殺はその多くが防ぐことのできる社会的問題であること」、「自殺対策は自分自身にかかわる問題であること」などから、自殺に関する基礎的な知識について、一層の普及啓発が必要であること。

自殺対策の取り組みとして、「生活困窮者への経済的支援」、「職場や地域での相談しやすい体制整備、相談窓口の周知」などが大切であるという市民意識を把握することができたこと、新型コロナウイルス感染症の流行下においても、関係機関・団体が連携して、自殺対策の取り組みが行われた旨を記載しております。

12ページをご覧ください。2 後期5か年の推進の考え方には、中間評価を踏まえた後期5か年の取り組みの考え方を記載しています。

今後、5か年においても、取り組みを継続することやアンケート調査から見えた、自殺に関する基礎的な知識についての一層の普及啓発の必要性、生活や就労における支援や相談体制の充実など、地域の実情を勘案しながら取り組むこととし、その取り組みにあたっては、行政機関はもとより、自殺対策に係わる各種団体が重要な役割を担っていることから、地域レベルでの自殺対策が効率的に展開されるよう、国の自殺総合対策大綱に基づき、今後においても相互に連携・協働しながら、中長期的な視点に立った対策を総合的に推進することとしております。

13ページ、第4 自殺対策の体制をご覧ください。こちらには、総合的な自殺対策を推進するための体制と函館市自殺対策連絡会議の構成機関について記載しています。なお、構成機関一覧の機関・団体名に訂正がございます。区分(1)保健・医療・福祉関係機関の上から2番目の北海道渡島総合振興局保健環境部児童相談室「函館児童相談所」は、令和2年の機構改革により、現在は、北海道函館児童相談所に変更となっておりますので、訂正をお願いいたします。

中間評価の素案につきましては、以上のとおりです。なお、本日、欠席された委員の皆様からは、ご意見がございませんでしたので、ご報告いたします。以上です。

### 【三上議長】

ありがとうございます。ただいま、報告されました中間評価素案につきまして、ご意見・ご質問等がございましたらお受けいたします。ございませんか。

実務者会議では、十分に細かいところまで審議してまとめたということよろしいですか。

### 【事務局：二本柳主査】

実務者会議につきましては、6月、8月、9月に開催し、協議いただいております。

### 【竹花委員】

議長から実務者会議についてお話しがありましたので、ここに実務者会議に出席していたのが3名かと思うんですけども、この中で例えば、どういう点が審議されて、どういうところがこれからもっと取り組んでほしいといったことをまとめて進めようというふうになったのか、何か説明があった方がわかりやすいのではないかと感じたところなんですがいかがでしょうか。例えば、私が実務者会議に出ていなくて、この資料を配付されたときに、5か年の推進の考え方。これは随分、修飾的ではないかと思って質問したんですけども、実務者会議の中では、活かす言葉と、こういうところを盛り込んだらということもあり、今後、具体的に計画を立てて、期待しているということで、理解しているんですけど。

### 【三上議長】

わかりました。この半年間の実務者会議での経過や計画期間の半分が過ぎ、今回の中間評価では、まあまあうまくいきましたということなのか、こういう点がうまくいかなかったですとか、事務局からお願いします。

**【事務局：田口課長】**

そのような検証も含めて、今回、中間評価をさせていただいております。先ほど資料で説明させていただいたとおり、コロナ禍にあっても概ね取り組みが達成されたというふうに認識しております。

**【三上議長】**

後半の5年間については、どういうふうなことをもう少ししたいということで、理解してよろしいですか。

**【事務局：田口課長】**

先ほどご説明しましたが、こころの健康に関するアンケート調査の中から、「生活困窮者への経済的支援」、「職場や地域での相談しやすい体制整備、相談窓口の周知」、「失業、過重労働など雇用に関する支援の充実」、こうした部分が、アンケートから見えた自殺対策の後期5か年の課題と考えております。

**【三上議長】**

今の説明が総括ということですね。他に何かご意見ございませんか。実際、会議に出られていた方がおりましたら、追加して下さっても結構でございます。

(百合委員 挙手)

はい、お願いします。

**【百合委員】**

内容としては特に問題ないと考えていますが、細かいところで、内容と全然関係ないことですが、11ページの1 中間評価の総括のところですが、10ページの4 数値目標(自殺死亡率)のところ「数」の下から「本市」と始まっているので、揃えるのであれば、11ページの1 中間評価の総括の「中」の下から「本計画」と始まる形になるのかなと思いました。

**【三上議長】**

事務局はよろしいですか。

**【事務局：二本柳主査】**

はい。

**【三上議長】**

(森谷委員 挙手)

はい、どうぞ。

**【森谷委員】**

実務者会議に参加をさせていただきました。いろいろと意見を述べさせていただき、それにきちんと検討いただいて、出てきたものというふうに理解しております。

会議の中でご指摘したのは、市民や民間団体が取り組んでいる活動と行政としてどうしていくのかということが混在しているところが、一つ課題だというふうに意見を申し上げました。

それについて、今後5年間の取り組みの中で具体的に行政が何をしてくだとか、民間の活動をどうバックアップしていくのかということについては、細かい計画は、これから議論していく中で取り入れていくというふうにおっしゃっていただいているので、ここを前提に計画を確認して、次の具体的な目標をみんなで議論していけたらと思っています。

ちなみに教育大学函館校は、保健師さんに授業に来ていただいて、ゲートキーパー研修をして

いただくなどの取り組みも行っています。行政の方からも今後、研修事業を広めていきたいとおっしゃっていたので、是非そういったものを広げながら、行政の役割、そして市民団体や民間団体の活動をどうバックアップするのかについて、今後、しっかりと議論していければと思っています。

**【三上議長】**

今、お話しされたのは、中間評価ですね。後半5か年の計画は出るんですか。

**【事務局：田口課長】**

今回の中間評価は、5年間の振り返りということで、後期の5か年については、中間評価を踏まえながら、自殺対策を推進し、計画については、現行の内容により、後期5か年の自殺対策を推進してまいりたいと考えております。

**【三上議長】**

ももとの10年間の計画に、今回の評価を加味して、後半やっていくということですね。逐語的に読んでいくとまだ議論は出てくるんでしょうけど、先ほども言いましたように概ね計画どおりに進みつつあるということで、もう少し、頑張る部分もありますよということでございます。

よろしいでしょうか。これでお認めいただけますでしょうか。御異議の方は挙手をお願いします。

(挙手なし)

**【三上議長】**

御異議がないようですので、これで認めることにいたします。中間評価については以上のとおりといたします。

**(2) 報告事項**

**ア 各機関からの報告事項について**

**【三上議長】**

次に各機関からの報告事項についてです。あらかじめ事務局に報告がありましたので、森谷先生ご発言ございますか。

**【森谷委員】**

ございません。

**【三上議長】**

今、おっしゃったことですね。これから後半に向けて、民間と役所がいかにタイアップしていくかということに努力していただきたいということですね。

次は、道南いのちと心を考える市民ネット・あかり 竹花委員からご報告をお願いします。

**【竹花委員】**

「道南わかちあいの会 あかり」の活動紹介

毎月第2土曜日に自死遺族「道南わかちあいの会 あかり」を開催しています。今年度の新規参加者は7月に1名。当初から10年間参加されている方が1名、毎回参加されている方が3名で、現在4名の方が継続して参加されています。会について皆さんに十分に届いていないのではないかと思います、ホームページやリーフレットを新しくしたり、スマホで見やすくしたり、設置場所を工夫していますが、市民の方には十分届いていないのではないかとと思われるため、皆様からご周知よろしく願いいたします。

市民団体はどこも高齢化で大変ですが。

**【三上議長】**

サポートされる方は、何名いるんですか。

**【竹花委員】**

会員は11名で、わかちあいの会のスタッフは交代制で3から4名で対応している。中には長く参加されている方もいる。

自殺対策の中でいろいろな活動をされている団体の報告がされていますし、アンケート結果も出ていますけれども、市民団体は色々な問題を抱えていたり、コロナ禍を経て苦勞しながら運営している会もあります。実務者会議で各団体と話し合いをして対策を進めていくのがよいという意見が以前もあったと思います。

ジャニーズの性暴力被害で、被害者1名が亡くなられたニュースがありましたが、子どもの場合、状況を把握できないというのがあると思いますので、教育現場でも授業の中で取り入れてほしいと強く思っております。そういった対策を自殺対策の一環としても今後の5年間の中で実施していくことはできないかということも考えております。

今週金曜日まで、配偶者暴力と防止、児童虐待防止について開催していますので、是非、ご覧いただければと思っています。

**【三上議長】**

貴重なご意見ありがとうございます。ただいまの意見は参考にさせていただきたいと思います。それでは、生活支援総務課の伊東さんからお話しいただきます。

**【伊東委員】**

「函館市の生活保護受給者の自殺者の状況」について報告

お配りしている1枚ものの資料は、生活保護受給者の自殺者の状況で、令和4年度の自殺者は2名。内訳は40代男性1名、30代女性1名でした。集計方法について変更があり、これまで1月～12月の年ベースで集計していましたが、今後は年度ベースでの集計となります。

令和元年は3名、令和2年は3名、令和3年は7名、令和4年は2名、令和5年は、1月から3月までで0人でした。この5年間での男女差はなく、男性8名、女性が7名でした。

資料に掲載していませんが、令和5年4月から9月までは、男性2名、女性1名の合計3名の方が亡くなられています。

**【三上議長】**

今のご報告に何かご質問はございますか。

私から一つ。お亡くなりになられた方の要因は分かるんですか。

**【伊東委員】**

ケースによって様々ですが、経済面、健康面などの要因が重なっている状況のようです。

**【三上議長】**

一定の傾向はないということですね。

あとは何かございますか。百合委員、お願いします。

**【百合委員】**

「生活保護ホットライン」について紹介

本日、チラシをお配りさせていただきました。日本弁護士連合会と函館弁護士会で「生活保護ホットライン」を12月5日10時から16時まで開設し、この時間にお電話いただければ、当会の弁護士が対応いたします。

翌日12月6日には、東京など全国のほとんどで実施されるようなんですが、日程を1日ずらしたのは、道南に住んでいる人のためにという当会の会員の意見を踏まえて実施するものです。

**【三上議長】**

このパンフレットは、どのように皆さんにお伝えするのか。

**【百合委員】**

ここに来る前に、くらし安心課に行き、そこから亀田や湯川支所に配付してもらったり、福祉事務所にも届けている。お知り合いの方で困っている方がいれば、声を掛けて、教えていただければと思っている。

**【三上議長】**

せっかくの機会なので、皆さんにわかっていただきたいですね。  
あとはございませんか。

**6 その他**

**【三上議長】**

それでは、予定の時間となりました。

中間評価が承認されましたので、後半の5年間についても、自殺が減るように、頑張っていきたいと思います。

**【事務局：二本柳主査】**

事務局からご連絡です。今後の予定についてですが、例年どおり、新年度に入りましたら、委員とメールアドレスを確認させていただくほか、5月ごろに関係機関・団体の皆様に自殺対策の取り組みの進捗状況について照会させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

**7 閉会**

**【事務局：二本柳主査】**

三上議長、鈴木副議長ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、今後におきましても、引き続き、本会議をはじめ、自殺対策の取り組みにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして、令和5年度函館市自殺対策連絡会議を終了いたします。